

今年も中止になった「真光寺川まつり」

真光寺川を清流にする会 山口拓郎

今年も残念ながら「真光寺川まつり」は中止せざるをえませんでした。きれいなふるさとの川にして子供たちに親しんでもらいたいと言う願いが私どもの活動の原点です。

ところが2~3年前から川の水質が次第に悪くなり2010年には中止せざるをえませんでした。上流の広袴公園に大量のアオコが発生したり、多くの鯉が死んだりしたためです。昨年はどうにか開催に漕ぎ着けましたが告知の遅れから参加者が少なく寂しい「まつり」でした。今年こそはと年初から準備を進めてきました。しかし、水質は一向に改善の兆しが見られませんでした。時折見られる白濁水、毎朝のように川面を覆う大量の泡、川底には気味の悪い藻が一面に生えてきました。皆で何回も話し合いましたが、中止と決定せざるをえませんでした。水質悪化の原因は次第に明らかになってきました。しかし改善の目途は一向に立っていないのが実情です。

{ 5月 }

5月1日(日) 真光寺中と打合せ

小林先生と出前講座の日程につき打合せ、配布する地図とレジメを送る

5月2日(月) 白濁水流出の連絡

朝から強い雨。竹本さんから「東京クレイン」の排出口から臭気のある白濁水が流出しているとの連絡があった。竹本さんのお宅は「東京クレイン」の排出口の真近にあり、以前白濁水の追跡に行った際、何かあったら連絡をしてほしいとお願いしてあった。早速、山本、黒田さんに連絡する。

5月3日(火) 黒田さん、白濁水追跡

黒田さんから次の連絡があった。前日の連絡を受け直ちに駆けつけたところ白濁水流出の現場を突止めることができた。カメラに収め「クレイン東京」の責任者に面談したところ、白濁水流出の事実を認めたそうだ。現場を確認できたことは大きな成果だ。住民の方々も言っていたようにやはりそうだったかと思う。環境保全課に取り敢えず通報し、後日対策につき打合せをお願いします。

5月11日(金) 真光寺中出前講座・一木会

14時から、真光寺中学で出前講座、117名が出席する。従って同時刻に行われた里親通信の印刷・発行作業には参加できなかった。18時から魚民で一木会。山本、黒田、岩上、桜井、山岡、吉田、久山さん出席。白濁水の

こと、環境保全課との打合の日程、市民大学・体験講座実施等につき打合せる

5月12日(土) 中村順子さんのお通夜

中村順子さんが9日に亡くなった。熱心な会員でイベントにはお手玉や数珠玉の工作で参加して下さった。ご冥福をお祈りする。

5月13日(日) 清掃作業日

五月晴れ。13名参加。先ず皆で下堰親水の水質を観察し「真光寺川まつり」開催の是非を検討する。透明度は低く、川底のは黒ずんだ藻が付着しており残念ながら中止と決定した。ナマズが泳いでいた。ゴミ20袋、傘5本拾得。

5月15日(火) 環境保全課と打合せ

「クレイン東京」から白濁水流出について打合。環境保全課:志賀係長・八木主任、当方:山本黒田、吉田さん。馬場の砂入替え、水質汚濁防止法との関連、下水管設置の問題等指導を行っている旨説明を受ける。行政としてもなかなか抜本的解決策が見出されず苦慮しているとのこと。

5月17日(木) 真光寺中生・清掃作業

当方、山岡、生江、吉田、黒田、山口参加。12時50分広袴公園に6名の先生に引率されて1年生116名が到着する。13時:山岡さんから写真を示しながら真光寺川に棲息する鳥類・魚類の説明を行う。13時半:鳥を観察しながら広袴公園を一周す

る。あまり鳥の姿は見られなかった。三々五々真光寺川ぞいに川を観察しながら下堰親水へ向かう。14時:下堰親水に到着。生江さんから「川について」話してもらい、清掃作業に移る。約30分。作業後、川遊びに歓声を上げていた。14時50分:下堰親水を出発、広袴公園を経て帰って行った。

{ 6月 }

6月3日(日) 水環境全国一斉調査

国土交通省が全国の河川6000カ所で行っている水質調査にエコネット町田として境川・恩田川・鶴見川・真光寺川12カ所協力して。担当している鶴見川下川戸橋で観測する。例年に比して余りいい数値ではない。

6月8日(金) 里親通信発行・一木会

14時から支所で里親通信の発行業務。ついでに市民大学・体験講座のレジメも印刷。山本黒田、桜井、吉田、生江さん。18時から魚民で一木会。真光寺川の水質改善策について議論が白熱する。山本、黒田、桜井、吉田、岩上、生江さん。



まちだdeエコ・ツアー

6月10日(日) 市民大学体験講座

晴れ。前日の雨でやや増水少し濁っている。月例清掃日であるが町田市民大学「まちだdeエコ・ツアー」を受け入れる。受講生6名、スタッフ3名、それにエコネット町田から瀬川、松尾さんが応援に駆けつけて下さる。当方11名。9時30分、挨拶・スケジュール等の説明約1時間、清掃作業。1隊は川に降りて下堰親水から矢崎橋周辺まで清掃作業。他の1隊は下堰親水から開戸親水を往復し測道のゴミ拾いの作業を行う。11時から下堰親水で水質検査の実習。先ず、透視器による透視度測定、恩田川の水との比較も行う。次いでCODパックをつかって水質検査を行う。更に水生生物調査の要領の説明する。数個の石を川底から拾いそこに棲息しているトビケラ、ヒル等を採集する。その種類によって水のごとの程度を判定する。12時過ぎに散会。

{ 7月 }

7月5日(木) 里親通信発行、一木会

14時から支所で里親通信発行業務。山本、黒田、桜井、野田さん。18時から魚民で一木会。山本、黒田、桜井、吉田、岩上、生江、久山さん。8月の里親通信のテーマは神蔵さんをお願いして「真光寺川周辺の湧水と上総掘り」を取り上げるようになった。

7月8日(日) 清掃作業

朝から小雨。川の水は少し冷たい。用心していたが足を滑らせ転倒、全身ずぶ濡れになる。作業終了後、早々に引き上げシャワーを浴びる。

7月10日(火)「湧水上総掘り」取材

午前中、神蔵さん宅に伺い取材する。上総掘りの模型、写真、神蔵さんの父上が記録したノートを見せてもらう。作業の手順は複雑で説明が難しいとおっしゃる。原稿を作り見てもらうことにして関連資料を拝借して辞去する。

7月11日(水) 資料返却

朝、神蔵さんから電話がある。やはり上総掘りの記事は取り止めてもらいたとのこと。午後資料を返却に伺う。(この項おわり)